

2月28日

テーマ：すべてが主のもの

聖書箇所：ヤコブの手紙1章9節～11節

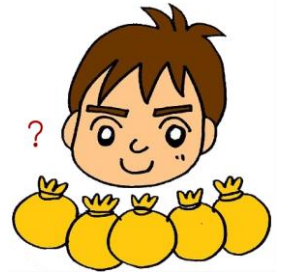
◆今日のみことば

富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持ちなさい。なぜなら、富んでいる人は、草の花のように過ぎ去って行くからです。

ヤコブの手紙1章10節

◆メッセージ

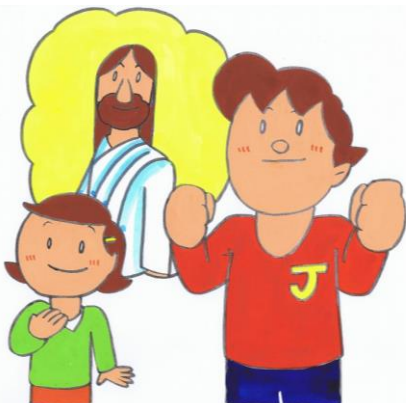
ある子ども会で、聞いてみました。「皆さんはどんな大人になりたいと思いますか。」ある子が答えました。「お金持ち！」。どうしてと聞きますと、「何でも買えるから！」と言っていました。お金があるといいですねえ、でも、本当に、お金があれば何でも買えるのでしょうか、そうではないですよ。



今日の箇所には、「貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇りとしなさい。」(9節)と書かれています。この言葉は、貧しくて、力がなくて、弱い人がイエスさまだけを信じて、頼っている時、神の子どもとされ、神さまが支えてくださることを言っています。逆に「富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持ちなさい。」と書かれています。なぜなら、お金をいくら持っていたとしても、自分を罪から救うことは出来ないからです。罪のゆるしは、お金では買えません。自分の命を買うこともできません。お金があつてたくさんの物を持っていると自慢していても、死ぬ時には役に立ちません。美しい草の花がやがては枯れていってしまうのと同じようになるのです。お金だけでなく、知識、健康などすべてのものは神さまが与えてくださったものとして感謝し、自

分を低くすることが大切なのです。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉があります。稲の穂は実がなればなるほど重くなり、しなっていくのです。私たちは大人になっていくほど知識も得ますし、立場やお金も得るかもしれませんが、それを自分の誇りとして自分を高くするのではなく、すべては神さまが与えてくださったものとして感謝をささげ、主に栄光をお帰ししましょう。



◆お祈り

「神さま。毎日、たくさんの恵みをありがとうございます。私たちが、あなたに与えられたものによって自分を高くすることがなく、あなたの御名をあがめるものとして自分を低くすることができるようにしてください。」

(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)